



2015年（平成27年）10月4日〔日曜日〕

※クリックするとNHKサイトを離れます。

[トップページ](#) > [社会ニュース一覧](#) > AV出演拒否で違約金迫られる被害相次ぐ
ニュース詳細

AV出演拒否で違約金迫られる被害相次ぐ 9月29日 20時46分



k10010252431_201509292056_201509292057.mp4

芸能活動の契約を結んだ女性が、アダルトビデオへの出演を強要され、拒否すると、高額な違約金を請求される被害が相次いでいるとして、相談を受けている弁護士は「本人の意思に反して出演させることは許されず、直ちに相談してほしい」と呼びかけています。

これは、被害の相談を受けている伊藤和子弁護士や支援団体が、東京都内で会見して明らかにしたものです。

伊藤弁護士によりますと、最近相談を受けた事例では、スカウトされた会社と芸能活動の契約を結んだ20代の女性が、アダルトビデオへの出演を強要され、その後も出演を求められたため、拒否すると、2400万円余りを違約金として支払うよう求める裁判を起こされたということです。

この裁判で、東京地方裁判所は今年、「アダルトビデオへの出演は、出演者の意思に反して従事させることができない性質のもので、契約を解除できるケースに当たる」として、会社の訴えを

退けました。

支援団体によりますと、タレントやモデルの契約を装った同じような被害の相談は70件余りに上り、違約金を支払ってしまったケースもあるということです。

伊藤弁護士は「今回の判決で、本人の意思に反して出演させることは許されないと判断された。勇気を持って逃げて、直ちに相談してほしい」と呼びかけています。

被害に遭った女性の手記には

契約を結んだ会社からアダルトビデオへの出演を強要され、違約金の支払いを求められた女性の手記には、当時の気持ちがつづられています。

この中で女性は、「違約金を支払わなければ裁判で負けて支払うはめになると追い詰められ、最後はビデオに出演せざるを得なくなりました。誰にも相談することができずずっと悩み続けていました。死にたくなりました」と、苦しい胸の内を明かしています。そして、「忘れてたくても忘れることができないのです。私にとって一生つきあっていく問題です。プロダクションやスカウトの取り締まりについても、しっかり考えてほしい」と訴えています。

支援団体「被害防止のための法整備を」


支援団体の「PAPS」によりますと、同様の被害の相談が、去年からことしにかけて急増し、これまでに70件余りに上り、手口も巧妙だということです。

典型的な例としては、女子高生や大学生が繁華街で、「芸能事務所のスカウト」や「テレビ番組の出演」などとして、しつこく勧誘され、断り切れずに事務所や車の中に連れて来られると、「年齢確認のため」と、学生証や免許証などのコピーを取られます。その後、複数の男に囲まれるなどして、服を脱いで写真を撮影させることを執ように求められ、撮影されてしまうと、コピーした身分証明書とともに写真を公表するぞと脅し文句を言われたうえ、契約書へのサインをしつこく求められます。

その場を逃れたいと契約書にサインをしてしまうと、そこからまた要求が始まります。女性側が契約を解除してほしいと求めても、契約書にサインしていることを理由に、アダルトビデオへの出演を求められ、断っても無理やり撮影されてしまうケースもあるということです。

撮影が終わると、女性側は5000円ほどの謝礼を受け取ることや、断ったとしても、領収書に名前を書くことを強要されます。女性側が警察に訴えたとしても、「金銭のやり取りがあり、合意のうえでの撮影だった」と主張するためだと、支援団体はみえています。

最初に断りきれずに誘いに応じてしまうと、要求がエスカレートしていき、何度も被害に遭うケースが後を絶たず、支援団体では「女性が誘いについていけないことも大切だが、多くの被害の相談が寄せられているので、こうした事案を処罰できるような法整備なども検討しないと、被害は防げない」と話しています。

 ツイート  シェアする  チェック  ※クリックするとNHKサイトを離れます。

- [ご意見・お問い合わせ](#)
- [NHKにおける個人情報保護について](#)
- [放送番組と著作権](#)
- [NHKインターネットサービス利用規約](#)



Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved.

許可なく転載することを禁じます。

このページは受信料で制作しています。

[このページの先頭へ](#)